

## 「船中八策」を模して、「機中八策」

2025 08 17 By Jhornar 竜馬

機中のぼやけた意識のまま、取り留めも無く・・・。

1. 事業の大前提として「支援とは、受益者自らが豊か/健康になる道筋を示すこと。」
2. 学校と CC・UHC の協働体制を作る。所管の官庁が異なるのが問題だが・・・。  
具体案として学校運営委員会(地元の有力者と校長がメンバー)と CHW・UHC の協働体制の下、  
本事業体からの指導を受けた CHW が主体となって以下の活動を行う。  
第一段階：「学校歯科医」のように CHW に活躍してもらう。「CHW がやって見せる。」  
第二段階：歯の状態の良い「上級生」が「下級生」を指導し、CHW や UHC の歯科医がサポート。  
第三段階：上級生・CHW が「よくできました！」と褒められ、表彰される。(受益者が活動の主体)
3. 自主性の尊重が鍵！（2. の成果として）  
CHW や UHC の歯科医・役人が対象だが、現地リーダーを育成するつもりで活動案を策定する。  
表彰・タイトル付与による活動意欲の賦活化
4. 事業目標・Out put について、注意事項  
医科の分野への越境（？）に、表現のみならず項目で疑いを惹起される行動（？）に注意！
5. アンケート調査について。  
小学生、成人共に「自分の将来像」を意識できる内容が求められる。  
Base line 調査と直近の活動の四半期後に「将来目標」を意識させる問いかけを考える。  
翻って、事業目標には Fore Cast 型にして「理想像の描出」を心がける。
6. 「CHW らは、UHC の医師・歯科医師の指示・命令の下に活動している」とのことであるので、  
事業開始時には遅滞なく活動が開始される確信を得た。  
その活動を通じて、「達成感」、「自己啓発感」、「向上心」などの積極性が醸成されるよう、語弊を  
覚悟で言うと、「褒めてやる気を出させる」よう派遣側と CC 側の「協働作業の形」に拘る。
7. Incentive を与える（金銭的ではなく、名誉や活動に用いる歯ブラシなど）。  
規定に則った物資支援を含む利益供与は必須と考える。
8. 活動地域への細やかな利益還元策  
CC で古歯ブラシ回収：古歯ブラシ 5 本で新歯ブラシ 1 本位と交換⇒K 教授が判定し交換する。  
歯ブラシの適切な交換時期への理解の流布を、「教材提供としての歯ブラシ配布」を「地域での歯ブ  
ラシ購入実績向上」に結びつける一案などを試行してもよいのでは？

反論型にしてみると・・・。

1. 立場を逆にすると・・・。不満が増す！
  - i) CHWは仕事が増える。
  - ii) 収入に結びつかない。 などなど、Income やプライドに反する状態となる。
2. 結論は正しいか？  
失敗するという前提で考えてみる。
3. 「客観視」する。  
考え・行動を第三者の視点で判断する。
4. 受益者の視点に立つ・意見を重視した場合はどうなるか？

HP:

<http://ss843561.stars.ne.jp/>